

【競技名】NEST ロボコンオリジナル「サッカーチャレンジ」

【競技紹介】

NEST ロボコンオリジナル「サッカーチャレンジ」は、ロボカップジュニアのサッカーBのルールを基にし、世界大会で行われている「スーパーチーム競技(他国のチームとチームを編成して挑む競技)」の方式を採り入れたオリジナル競技である。

1. NEST ロボコンのエントリーとチーム

NEST ロボコンは、ロボット1台でエントリーすること。1台のロボットを2名以上で製作することも認める。NEST ロボコンの全競技は、別のロボットの製作者(製作グループ)とチームを編成し競技を行う。チームの組み合わせは、NEST ロボコン開催日の1週間前までに事前に公表される。

2. チーム編成

サッカー競技では5名(ロボット5台)で1チームをつくる。

エントリー時にライトウェイト、オープンの区分で登録するが、チームはライトウェイト、オープン混合とする。

※混合での試合となるため、ライトウェイトのロボットは強度に考慮して参加することを推奨する。

3. 競技方法、回数

1試合は5対5で行う。参加チーム数により、4試合程度行う。

4. 適用ルール

ロボカップジュニア日本大会2015(サッカーB)ルールをベースに実施する

【ルールリンク先】

<http://www.robocupjunior.jp/rule.html>

http://rcj.robocup.org/rcj2015/soccer_2015.pdf

上記ルールにくわえ下記、特殊ルールを追記する。

【5対5特殊ルール】

(1) キックオフ

キックオフはキックオフ側チームゴール付近にある2か所の中立点いずれかから始める。どちらからキックオフするかはチームキャプテンが選択する。

各チームのロボットは中央中立点より自陣側寄りのフィールド内いずれからでもスタートしてよい。その際、チームメンバーであれば、誰でもスタートスイッチを押してよい。

(2) アウトオブリーチ

ボールが白いラインより出てフィールドに復帰できないとき、ボールを審判がフィールドに戻す。

その際、戻し先は審判から一番近いカーペット上に試合に影響の無いように置く。

(3) ハンドルの強度

ロボットが故障等で退場させられるとき、フィールド中央などにおいて審判の手が届かない場合、棒などで引っかけてロボットを撤去する。このことを考慮しハンドルには十分な強度を持たせること。

(4) フィールドは会場の状況によって床面に設置する場合がある。この場合、地磁気の影響等が考えられ得るので十分に対策を考慮しておくこと。

5. 順位付け

グループの各試合結果の勝ち点、得失点差、総得点を合計し総合成績で順位付けを行う。

6. プレゼンテーション・ポスター

サイズはA3縦とする。ロボット製作者（もしくはグループ）は事前に活動内容、戦略、ロボットの機構や動きの説明等をプレゼンテーション・ポスターにまとめ、競技会当日、会場に掲示しておかなければならない。

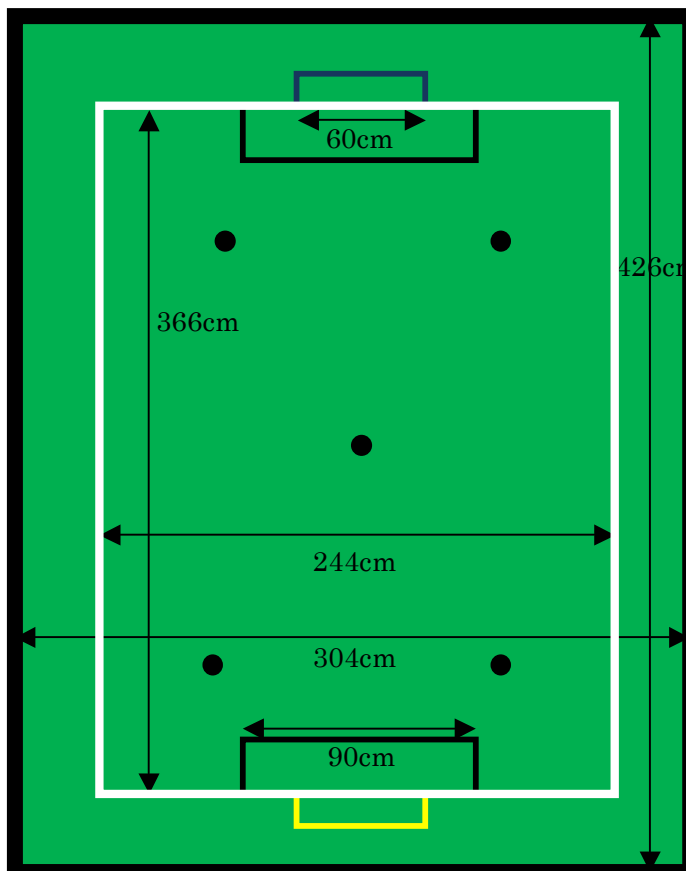
優秀なプレゼンテーション・ポスターを制作したロボット製作者（もしくはグループ）には、ベストプレゼンテーション賞が授与される。

7. 賞

- 1) チーム単位で優勝・準優勝・第3位を表彰する。
- 2) 個人単位で得点王を表彰する。
- 3) ベストプレゼンテーション賞を設け、賞状を授与する。ベストプレゼンテーション賞は1台のロボットを制作した個人もしくはグループを対象とする。

8. フィールド

フィールドは通常のBフィールドの大きさの約4倍となる。イメージは以下の通り
ゴールサイズ、ペナルティエリアサイズは通常Bフィールドと同じ。



9. 参考

2014年世界大会で実施された5対5競技の様子はこちらをご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=dhS9ZR8KT0E>